

第5学年 図画工作科学習指導案

指導者 福岡市立〇〇小学校教諭 〇〇 〇〇

1 題材名 「光とかげ -光を当てると-」(造形遊び)

2 本題材について

本学級の子どもたちは、図画工作科学習の様々な活動場面において、自分の表現にこだわりをもって、楽しく取り組むことができる。ただ、中には材料をどう使えばよいのか思いつかず時間がかかってしまったり、思いをふくらませてじっくり取り組んだりすることが苦手な子も数名いる。しかし、新しい材料や表現技能に出会うと、高い関心をもってその材料に関わるとともに、新しい技能を使っていろいろな表現方法を試す姿が見られる。

光を使った題材として、2年生の「光のおくりもの」で色セロハンを通して光が地面に投影されたときの美しさを経験している。また、本学級の子どもたちは今まで造形遊びの経験がほとんどないため、作品のよしあしがなく、自由に表現できる本題材は、改めて図画工作の楽しさを認識し、自分の表現技能に自信をもつ一つのきっかけになると考えられる。

本題材は、光を生かした表し方に興味をもち、光を当てたときの美しさや面白さなどから発想を広げ、今までの造形体験をもとに見え方や見せ方を意識し、形や色の構成・動かし方など光の特徴を生かしたながらつくることをねらいとしている。

光は、子どもたちにとって身近なものであり、美しさを感じやすい材料である。光は当て方や当てるものによって色も形も大きさも自由に変化させることができるため、子どもたちにとって、本題材への興味・関心は高いと考えられる。光を当てると効果的な材料をいろいろ試しながら、光とかげの美しさを表現し、自分の思いにあったものをつくり出す楽しさを感じることができる題材であると考ええる。

3 本題材の目標

- 光とかげの美しさやおもしろさを生かして、自らつくる造形活動を楽しむ。(造形への関心・意欲・態度)
- 光の当たり具合の効果や材料の形・色の組み合わせを確かめながら、つくるものを発想・構想する。
(発想や構想の能力)
- 光の効果を生かしてつくり、作品を持ち寄って、造形的な環境を構成する。(創造的な技能)
- 友だちの発想のおもしろさや作品のよさを味わう。(鑑賞の能力)

4 本題材の計画（7時間）

	2	4（本時5/7）	1
ねらい	<p>光とかげの美しさやおもしろさに関心を持ち、いろいろと光の効果を試すことができる。</p> <p>光の効果を生かして、つくりたいものを発想することができる。</p>	<p>光の効果を生かしながら組み立て方など試し、構想を練ることができる。</p> <p>光と材料との関係を考えて、思いのままに形にすることができる。</p>	<p>自分や友達の仕事のよさや美しさに関心をもつことができる。</p> <p>光を使った作品で、友達と構成した環境を楽しみながら、それらのよさを味わうことができる。</p>
活動	であい	表現	鑑賞
学習活動の内容	<p>1 身の周りにある光を使ったものを想起させ、作品づくりのイメージをもつ</p> <p>（1）題材名と光の効果による写真から、どんな活動をするのか知る。</p> <p>（2）持ち寄った光を通す材料を使って、実際に光を当てながら、構想を立てたり、さらに使ってみたい材料などを考える。</p>	<p>2 集めてきた材料をいろいろ組み合わせたり置き換えたり、光をあてたりしながら、思いのままに活動を楽しむ。</p> <p>（1）自分が集めてきた材料をいろいろ組み合わせ、光をあてたときの色や形の見え方の違い（明るい時と暗い時）や材料の特性を生かした動きを考える。</p> <p>（2）材料の特性に合わせて接着の仕方を工夫しながらつくる。</p> <p>（3）製作途中の作品にタッチライトをあて、みんなで鑑賞を行い、友だちの光の当て方や材料の使い方、組み合わせのおもしろさやよさを見つけ、自分の作品に付加修正する。</p>	<p>3 できた作品をみんなで楽しみながら鑑賞をし、光のあて方の工夫や材料の使い方、組み合わせのおもしろさやよさを見つける。</p> <p>（1）それぞれの作品を持ち寄り、タッチライトをあてて光の世界を楽しむ。</p> <p>（2）自分がいいと思ったところを友だちに伝える。</p> <p>（3）あらかじめ学校内で話し合い、暗くなる場所を確保して、全員の作品を持ち寄り展示する。</p>

5 本時 (5 / 7)

○平成21年 10月19日 (火) 5校時 (理科室)

6 本時の目標

○光の当たり具合の効果や材料の形・色の組み合わせを確かめながら、つくるものを発想・構想する。
(発想や構想の能力)

7 準備

(教師) タッチライト・カッター板・カッター・ホットボンド・油性マジック・針金・スズランテープ
(児童) はさみ・ボンド・色セロハン・ペットボトル




8 本時学習のポイント

・ねらい

製作途中の作品を鑑賞し、自然光にあてたときの光の美しさとタッチライトなど光源を使ったときの光の美しさの違いに気づき、友だちの光の当て方や材料の使い方、組み合わせを参考にして、光がより美しくなるための工夫を加えながらつくる活動を行います。

・方法

光の効果が確かめられるよう、暗幕などで教室を仕切り、タッチライトを用意して鑑賞する。また、試せる場所を確保する。

学習活動と内容	支援	子どもの姿
<p>1 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 前時までの活動を振り返り、「光の当て方」「材料」という言葉に着目させる。</p>	<p>△ 今日の学習はどんなことをするのか考えながら見ている。</p>
<p>めあて 光源をあてたときの光の美しさを工夫して、もっと美しく見えるようにしよう。</p>		
<p>2 製作途中の作品にタッチライトなど光源をあてて鑑賞する。</p> <p>(1) それぞれの作品を暗い中で見てみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光のあて方の工夫 ・光をあてたときの色や形の見え方の違い (明るい時と暗い時) ・選んだ材料の特性のおもしろさやよさ <p>(2) 友だちの光の当て方や材料の使い方、組み合わせの仕方で見つけたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セロハンの貼り方の工夫。 (色の重なり方・形・大きさ) ・水による光の動き方の工夫。 ・容器の組み合わせによる光の形や大きさの工夫。 ・材料の特性に合わせた組み合わせの仕方の工夫。 <p>3 友だちの作品から見つけたアイデアを生かし、新たな工夫を付け加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るいところでははっきりしなかった色や形がタッチライトの光では輝くように見えた。 ・タッチライトの光の当て方の違いで、色や形の見え方が変わることに気づいた。 ・暗くしたことで下だけでなく、上や横にも色や形が写ることが分かり、改善するヒントになった。 	<p>○ 鑑賞に時間がかからないように、あらかじめ光源を用意し、グループごとに作品を置いておく。</p> <p>○ 自分や友だちの作品のよさを具体的に考えられるように鑑賞のポイントを押さえておく。</p> <p>○ 話し合う中で、気づいたことを振り返り、次の活動へ活用することを明確にする。</p> <p>○ 気づいたよさを板書し、次の活動に生かせるようにする。</p> <p>○ 必要に応じて材料の提供や材料の生かし方の助言を行うとともに、技術的な支援を中心に行う。</p>	<p>太陽の光に当てたときとちがって、部分ごとに光があてられるので色や形がはっきり地面にうつっているな。</p>  <p>△ 光の効果を生かした作品を鑑賞し、その美しさや特徴に気づいている。</p> <p>色を重ねるとちがった色に見えるな。</p>  <p>△ 友だちの作品に使われている材料を使ってみたり、新しい表現技能を試したりいろいろなやり方を試してみたりしている。</p> <p>色水がゆれると光が動いておもしろいな。</p> 
<p>4 今日の学習を振り返り、次時への意欲をもつ。</p> <p>○ 次時の活動を知る。</p>	<p>○ 付加修正を加え、作品を展示することを伝え、意欲と見通しをもって取り組むように提案する。</p>	